

## 事務事業評価調書

事務事業名	都市計画審議会運営事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和44年度	改正内容	吹田市都市計画審議会規則を廃止し、吹田市都市計画審議会条例を制定											
(2) 直近の改正	平成12年度													
(3) 根拠法令等	都市計画法・吹田市都市計画審議会条例・吹田市都市計画審議会条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市都市計画審議会											
	結果(どのような効果が得られるのか)	吹田市都市計画審議会の円滑な運営												
(7) 事業概要	都市計画法によりその権限に属せられた事項を審議し、市長の諮問に応じ答申する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		601	299	599	317	529							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		3,107	2,711	3,050	2,687	2,945							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,107	2,711	3,050	2,687	2,945							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,107	2,711	3,050	2,687	2,945								
財源計(C+D)		3,107	2,711	3,050	2,687	2,945								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	審議会開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	審議会開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	903.67	922.67		
				一般財源(単位:千円)	903.67	922.67		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	諮問・答申数	目標値	(単位:件)	0.00		0.00
			実績値	(単位:件)	6.00	7.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	諮問・答申数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	451.83	395.43		
				一般財源(単位:千円)	451.83	395.43		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	都市計画法(昭和43年法律第100号)第77条の2第1項の規定に基づき、地区計画等の案件を審議し、答申する。			目標		諮問機関のため、目標設定はなじまない。
	②	成果内容	平成28年度においては、北部大阪都市計画地区計画(千里ニュータウン地区)の変更(吹田市決定)など7議案を諮問し、すべて承認された。			達成状況	達成している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		都市計画法に基づき、吹田市の条例に定められた必要不可欠な機関と位置付けている。					

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00672				

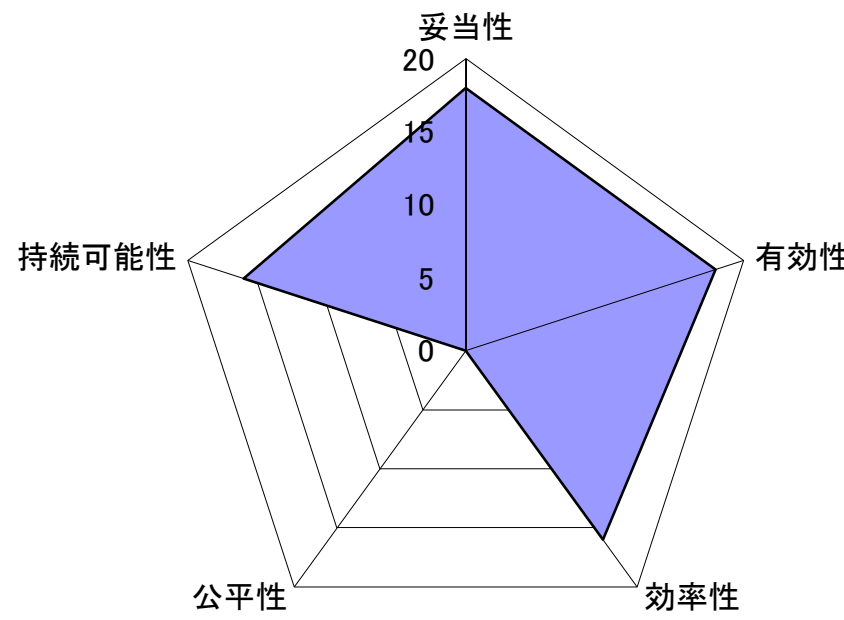
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00672
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画審議会は、都市計画法第19条の規定に基づき市が都市計画を定めるときに、同法第77条の2の規定に基づき設置した市長の諮問機関であり、都市計画は、市の住民や学識経験者、議会の議員、関係する行政機関の職員などから構成される審議会の調査審議を経て決定することから必要の機関である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	景観まちづくり推進事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市景観まちづくり条例、吹田市景観まちづくり活動補助金交付要綱の制定											
(2)	直近の改正	平成21年度													
(3)	根拠法令等	景観法、吹田市景観まちづくり条例、吹田市景観まちづくり活動補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		市民による主体的な景観まちづくり活動を啓発・支援するため、啓発イベントの開催や景観まちづくり活動補助金の交付を行っている。											
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民・事業者・専門家等・行政												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	「吹田市景観まちづくり計画」や「吹田市景観まちづくり条例」を活用し、市民、事業者、専門家等及び市の相互の協働により景観まちづくりを推進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域らしさと潤いのある景観まちづくりを行い、次代に誇れる快適な都市環境を創造する。													
(7)	事業概要	「吹田市景観まちづくり計画」及び「吹田市景観まちづくり条例」に基づき、市民・事業者・専門家等・行政が相互に協働して景観まちづくりを推進している。市内で特に良好な景観形成の必要がある地域等を重点地区に指定するため、土地所有者等と協議を行っている。また、市民に対しては広く景観に関する情報提供や景観まちづくり活動の普及のため、年3回のパネル展の実施や各種冊子・リーフレットの配布、まちあるき等のイベントの実施など啓発を行うとともに、主体的に取り組む景観まちづくり活動に係る費用について、予算の範囲内で補助を行う等の支援をしている。学識経験者・関係機関・市民からなる「吹田市景観まちづくり審議会」を開催し、本市の景観に関する重要事項について意見を求めている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,462	1,216	561	117	1,773							
		人件費	職員数	人	1.75	2.25	1.50	2.00	4.00						
			総額(B)	千円	14,616	18,088	12,255	15,800	32,208						
		総事業費(A+B)		16,078	19,304	12,816	15,917	33,981							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		16,078	19,304	12,816	15,917	33,981							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			16,078	19,304	12,816	15,917	33,981								
財源計(C+D)		16,078	19,304	12,816	15,917	33,981									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	景観まちづくり活動に取り組む市民等団体										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 開発事業に対する重点地区指定協議数	目標値	(単位:件)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:件)	5.00	5.00		
			達成度(%)		166.7	166.7		
	目標値の積算方法	概ね1haを超える開発事業の過去の実績から想定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,860.80	3,291.40	
				一般財源(単位:千円)		3,860.80	3,291.40	
	②	指標内容 景観まちづくりに関する啓発・支援事業の実施回数	目標値	(単位:回)	15.00	15.00	15.00	
			実績値	(単位:回)	17.00	13.00		
			達成度(%)		113.3	86.7		
目標値の積算方法	景観パネル展やまちあるき等啓発イベントの開催目標日数、景観まちづくり活動補助金交付目標件数の合算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,135.53	1,265.92		
			一般財源(単位:千円)		1,135.53	1,265.92		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	重点地区の指定に向けた事業者等との協議、市民等への啓発や支援の取り組み等を行なうことで、良好なまちなみの形成を図る。			達成状況	重点地区として新たに5地区指定することができた。また、パネル展等を実施し市民の景観意識の向上を促した。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		「吹田市景観まちづくり計画」及び「吹田市景観まちづくり条例」に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働による景観まちづくりを推進するため、今後も継続して重点地区の指定に向けた協議等や、啓発、支援の取り組みを行っていく必要がある。 また、景観に与える影響の大きい屋外広告物の規制については、今後、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けた検討を進めていくとともに、景観に配慮した屋外広告物を表彰するなど、啓発の取り組みを合わせて行っていく必要がある。					

# 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	景観まちづくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00673				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))



所属名	都市計画室	事務事業番号	00673
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>重点地区の指定に向け、開発事業者との協議を行うとともに、市民に対する普及啓発の取り組みや、景観まちづくり活動補助金などの支援事業を行うことにより、景観まちづくりを推進している。今後は、既成市街地における重点地区指定に向けた取組を積極的に行っていくことや、啓発、支援のあり方について、より効果的な手法を検討し、実践していくことが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	大阪外環状線鉄道建設事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容	第69条改正(鉄道事業法)											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	鉄道事業法・地方公営企業に準ずる第三セクターによる貨物線旅客化整備事業実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	南吹田地域												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の建設と新駅の設置												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の新駅設置による交通結節点機能の改善により、地域の発展や活力と賑わいにあふれた利便性の高いまちの実現													
(7)	事業概要	大阪外環状線鉄道建設事業は、旅客輸送を行うため、城東貨物線の用地を活用しながら複線化・電化を行うとともに新大阪駅に至る連絡線を新設し、新大阪駅から大阪東部地域を経て、JR関西線の久宝寺駅にいたる旅客線(おおさか東線)を整備するもので、平成20年3月に南区間の放出駅から久宝寺駅が開業した。残りの新大阪駅から放出駅までの北区間については、平成30年度末の開業に向け、整備を進めている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		117,600	128,891	164,560	83,024	222,730							
		人件費	職員数	人	1.00	1.25	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,352	10,049	8,170	7,900	8,052						
		総事業費(A+B)		125,952	138,940	172,730	90,924	230,782							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		125,952	138,940	172,730	90,924	230,782							
		(内訳)	地方債		117,600	128,800	164,500	83,000	222,700						
その他			0	41	0	0	0								
一般財源			8,352	10,099	8,230	7,924	8,082								
財源計(C+D)		125,952	138,940	172,730	90,924	230,782									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪外環状鉄道株式会社										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	工事進捗率	目標値	(単位:%)	77.88	84.68	93.88
			実績値	(単位:%)	74.22	80.51		
		達成度(%)		95.3	95.1			
	目標値の積算方法	執行済事業費/全体事業費	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,872.00	1,132.70	
				一般財源(単位:千円)		136.07	101.78	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容				目標			
		②	成果内容	大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の新駅が南吹田地域に開業することで、南吹田地域の利便性の向上等の効果をもたらす。			達成状況	平成30年度末の新駅開業に向け順調に工事が進捗している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明	大阪外環状線(おおさか東線)を整備し、南吹田地域が新大阪や大阪の東部地域とつながることで、利用者には、所要時間の短縮や交通分散による混雑緩和といった効果があり、社会全体には、鉄道ネットワークの充実、生活利便性の向上、地域の活性化等のさまざまな効果が出てくる。このような効果をもたらす大阪外環状線鉄道建設事業は、本市にとって重要であるため、平成30年度末の開業に向けて「継続」とした。						

## 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	大阪外環状線鉄道建設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00674				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	都市計画室	事務事業番号	00674
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

鉄道事業は、事業中だけでなく、事業が完了し、開業してから「総所要時間短縮効果」や「道路交通混雑緩和効果」、「環境改善効果」、地域の活性化等のさまざまな波及効果があり、建設事業中だけの評価では推し量れないものが多数あります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>開業してから「総所要時間短縮効果」や「道路交通混雑緩和効果」、「環境改善効果」、地域の活性化等のさまざまな波及効果があります。平成30年度末の開業に向けて、整備を進めていかなければならない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	都市計画情報デジタル化推進事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	都市計画法、測量法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	12							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	都市計画の内容											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	①市民や業者への情報提供 ②市民サービスの向上												
(7) 事業概要	都市計画図や都市計画基礎調査データ等をデジタル化し、地図情報と合わせることで都市計画情報を一元管理している。平成28年10月からは、吹田市ホームページ上の、都市計画情報配信システム「都市計画情報すいた」で、用途地域などの情報を市民、事業者等に情報提供している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	07	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		124	122	4,513	4,331	3,797							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.90	1.00	0.50						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	7,353	7,900	4,026						
	総事業費(A+B)		8,476	8,161	11,866	12,231	7,823							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		8,476	8,161	11,866	12,231	7,823						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		8,476	8,161	11,866	12,231	7,823								
財源計(C+D)		8,476	8,161	11,866	12,231	7,823								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)パスコ 大阪支店										
			②											
			③											
	主な委託内容		都市計画情報配信システムの構築											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 都市計画縦覧ページ閲覧数 (平成28年度は10月より運用開始の「都市 計画情報すいた」閲覧数)	目標値	(単位:件)	25,000.00	25,000.00	25,000.00	
			実績値	(単位:件)	22,678.00	9,680.00		
			達成度(%)		90.7	38.7		
	目標値 の積算 方法	実績値を参考にした数値	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.36	1.29	
				一般財源(単位:千円)		0.36	1.29	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値 の積算 方法			単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	都市計画情報をインターネットを通じて、市民、事業者等に情報提供を行うことにより市民サービスの向上を図る。			達成状況	クラウドサービスを利用したWebGISにて、市民や事業者等に都市計画決定・変更の情報を迅速に提供した。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>市民や事業者等からの都市計画情報に関する問い合わせは多く、住所や地番により位置の確認を行う。これに迅速に対応するため検索機能のある地図情報システムで都市計画情報を一元管理しサービス向上に努めている。またホームページで公開している都市計画図縦覧サービスについては、電話による問い合わせが多く、窓口での閲覧とともに今後も継続するサービスとなる。平成28年度からは都市計画情報をより市民の方に分かりやすく公開するためのクラウドサービスを利用した地図情報システム「都市計画情報すいた」(WebGIS)を構築し、運用をしている。</p> <p>なお、平成28年度の達成度が低い(閲覧数)理由は、平成28年10月1日から運用を開始した「都市計画情報すいた」のみの閲覧数を記載しているためである。当初は認知不足もあり閲覧数が伸びなかったが、徐々に閲覧数も伸び、利用者が増えている。</p>						

## 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画情報デジタル化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00675				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	都市計画室	事務事業番号	00675
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市民や事業者等から都市計画情報に関する問い合わせは多く、住所や地番によって位置の確認を行っている。これに迅速に対応するために検索機能のある地図情報システムで都市計画情報を一元管理することによりサービス向上に努めている。また、ホームページ上での都市計画図縦覧サービスについては、電話による都市計画概要図の利用方法についての問い合わせが多く、窓口での閲覧とともにホームページでの縦覧については、市民サービス向上のため今後も継続する事業と考えている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>市民や事業者等から都市計画情報に関する問い合わせは多く、住所や地番によって位置の確認を行っている。これに迅速に対応するために検索機能のある地図情報システムで都市計画情報を一元管理することによりサービス向上に努めている。また、ホームページ上での都市計画図縦覧サービスについては、電話による都市計画概要図の利用方法についての問い合わせが多く、窓口での閲覧とともにホームページでの縦覧については、市民サービス向上のため今後も継続する事業と考えている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	南吹田地域まちづくり事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	派遣を受けた団体だけでなく、アドバイザー本人から派遣結果レポートの提出を受けるよう改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	南吹田地域のまちづくり基本計画、南吹田地域アドバイザー派遣要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	南吹田地域												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市南部の新たな地域拠点として、南吹田の地域特性を生かした魅力あるまちづくりをめざす。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域特性を生かした魅力的な都市環境の形成													
(7)	事業概要	<p>おおさか東線の新駅設置や周辺の幹線道路整備などに伴う、地域ポテンシャルの向上を踏まえ、南吹田地域の新たな玄関口として、駅前にふさわしい魅力的な都市環境の形成を図るため、『南吹田地域のまちづくり基本計画』を推進するとともに、「南吹田駅まちづくり推進市民協議会」と連携し、協働による「南吹田地域まちづくり構想」の実現に向けて取り組む。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	04	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,889	2,400	4,245	1,629	132							
		人件費	職員数	人	2.00	2.25	2.00	2.30	2.00						
			総額(B)	千円	16,704	18,088	16,340	18,170	16,104						
		総事業費(A+B)		19,593	20,488	20,585	19,799	16,236							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		19,593	20,488	20,585	19,799	16,236							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	19,593		20,488	20,585	19,799	16,236									
財源計(C+D)		19,593	20,488	20,585	19,799	16,236									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	パナソニック株式会社										
				②											
				③											
		主な委託内容		南吹田新駅周辺まちづくり検討VR作成業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	まちづくり専門家であるアドバイザーを南吹田地域のまちづくり活動団体に派遣													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	アドバイザーの派遣回数	目標値	(単位:回)	8.00	8.00	/
			実績値	(単位:回)	8.00	8.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	アドバイザーの派遣回数	総事業費(単位:千円)	2,561.00	2,552.50		
				一般財源(単位:千円)	2,561.00	2,552.50		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	多くの住民が参加し、まちづくりに対する意識の向上や理解を深めるための活動を支援することで、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを推進する。	達成状況	アドバイザー派遣により、協議会主導によるイベントの社会実験や先進事例の視察見学会等を実施した。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	平成30年度末の大阪外環状線(おおさか東線)の開業に向けて、幹線道路の整備がなされ、地域のまちづくりの機運がますます高まってきている。地域特性を生かした魅力あるまちづくりの実現のため、『南吹田地域のまちづくり基本計画』を推進するとともに「南吹田駅まちづくり推進市民協議会」と連携し、協働による「南吹田地域まちづくり構想」の実現に向け、総合評価を継続とした。						

# 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	南吹田地域まちづくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	00677				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00677
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

南吹田地域の新駅(予定)周辺は、都市計画マスタープランにおいて「市域南部の新しい地域拠点」として位置付けており、平成27年度は「南吹田地域市街化動向調査委託業務」を実施し、地権者の意向や民間事業者施設の立地意向等の市街化動向調査(市場調査)を実施し、調査結果を踏まえ、具体的な土地利用の誘導策や事業手法等の検討を行った。  
 平成28年度は「南吹田新駅周辺まちづくり検討VR作成業務」を実施し、設計内容や視点など多様な変更が可能で視覚的に効果が得られるシステムで作成した「まちの将来イメージ」を地権者等と共有し、具体的な土地利用の誘導策等について検討を行った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度から「まちづくりアドバイザー」を地域のまちづくり団体に派遣している。地域ではこれまでまちづくりに関するニュースの発行や学習会、イルミネーションのイベントなどを実施している。平成30年度末の大阪外環状線(おおさか東線)の開業を控えて、まちづくりの支援の必要性はますます増してくるものと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	まちづくり活動支援事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	「吹田市都市計画まちづくりアドバイザー派遣要領」の新規制定											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	都市計画法、吹田市都市計画まちづくりアドバイザー派遣要領、吹田市景観アドバイザー派遣要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	11							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	まちづくりのルール化を目指す自治会等の団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動の初動期、住民の合意形成など都市計画に関するまちづくりの知識の普及や活動への支援を行う。												
(7) 事業概要	まちづくりのルール化を目指す自治会等の団体の活動を支援するための、アドバイザーを派遣する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		286	72	286	121	303							
	人件費	職員数	人	2.00	2.25	1.50	2.50	2.50						
		総額(B)	千円	16,704	18,088	12,255	19,750	20,130						
	総事業費(A+B)		16,990	18,160	12,541	19,871	20,433							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		16,990	18,160	12,541	19,871	20,433							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		16,990	18,160	12,541	19,871	20,433								
財源計(C+D)		16,990	18,160	12,541	19,871	20,433								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	アドバイザー派遣												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	アドバイザーの派遣回数	目標値	(単位:回)	17.00	17.00	17.00
			実績値	(単位:回)	5.00	9.00	/	
		達成度(%)		29.4	52.9			
	目標値の積算方法	当該年度に活動見込のある団体へのアドバイザー派遣予定回数の積上げ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,632.00		2,282.89
				一般財源(単位:千円)		3,632.00	2,282.89	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動の初期や、ルール化に向けての合意形成期などに、都市計画に関するまちづくりの知識の普及や活動の支援を行う。			目標	地域の特性に応じたまちづくりの実現	
	②	成果内容	まちづくりに関する知識の普及や、活動の支援を行うことを通して地域特性を活かしたまちづくりを推進する。			達成状況	アドバイザー派遣に加え、職員により自治会等の団体活動の支援を行い、住民主体のまちづくりについて具体的な成果が得られた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>まちづくりへの取り組みに関しては、全国的な財政難や官民連携のまちづくりのあり方等の問題に直面する中、従来のハード面への関わり方に加え、地域の課題解決に向けた対話や意見交換の機会づくり等のソフト面への関わり方が重要視されている。本市においても、市民や事業者、様々な専門家や行政などまちづくりに関わる多様な主体が協働するまちづくりを進めており、また、上記のようなまちづくり支援を求める市民ニーズも高いため、事業として必要であり継続すべきと考える。</p> <p>なお、平成28年度は、佐竹台地区では「一期会ガイドブック」、玉の井自治会ではまちづくりの“目標”や“方針”がそれぞれ策定されるなど、住民主体のまちづくりについての具体的な成果が見られた。</p>					



# 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	まちづくり活動支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00678				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00678
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性については適正といえるが、有効性、効率性、公平性及び持続可能性については、改善の余地がある。有効性では、指標設定が困難であるが目標や達成状況は分析する。効率性については、一定条件にあう団体を対象としているものの、取り組み内容を鑑みれば、理解が得られる。持続可能性については、現在比較的安価な費用による取り組みとなっているが、アドバイザーの行為に頼っているところもあり、他の公共団体の取組との比較・分析をしながら調査・研究を続けていく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	都市計画マスタープラン事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	都市計画法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2に基づき市が定めるものであるが、その策定方法、策定、改定時期等は市の裁量で実施できる。											
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市全域(都市計画に関する全般)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市都市計画マスタープランに基づき、都市計画に関する事業の推進を図るなど、安全で魅力的なまちづくりをめざす。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域特性を活かした多様で魅力ある都市空間の形成、拠点市街地の形成、都市機能軸の充実など、都市計画マスタープランに示す都市空間の将来像の実現。													
(7)	事業概要	吹田市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針を定めたものであり、吹田市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本理念や都市空間の将来像、まちづくりの方針などを示している。都市計画マスタープランに基づき事業を推進するとともに、都市計画に関する基礎的調査を実施し都市計画に反映するなど、都市計画の進行管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		156	0	3,186	2,148	615							
		人件費	職員数	2.00	0.00	2.00	2.50	3.00							
			総額(B)	16,704	0	16,340	19,750	24,156							
		総事業費(A+B)		16,860	0	19,526	21,898	24,771							
		特定財源(C)		68	0	172	0	2,045							
		(内訳)	国	0	0	0	0	1,782							
			府	68	0	172	0	262							
			その他	0	0	0	0	1							
		市負担(D)		16,792	0	19,354	21,898	22,726							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	16,792		0	19,354	21,898	22,726									
財源計(C+D)		16,860	0	19,526	21,898	24,771									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)地域計画建築研究所 大阪事務所										
				②											
				③											
		主な委託内容		風致地区の現状調査ならびに見直し案の作成											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	都市計画マスタープランに基づき事業の推進を図るとともに、都市計画の進行管理を行った。			目標	都市計画マスタープランに掲げる都市空間の将来像の実現
	②	成果内容	都市計画マスタープランに示す都市空間の将来像の実現を推進した。			達成状況	各種事業の推進、都市計画の変更を行うことで、都市空間の将来像の実現に向け前進した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針を定めたものであり、吹田市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本理念や都市空間の将来像、まちづくりの方針などを示している。引き続き、都市計画マスタープランに基づき、事業を推進するとともに、都市計画の進行管理を行う。また、都市計画マスタープラン(平成26年度改定)に新たに位置付けた地区まちづくり構想の策定に向けた取組を進める。				

## 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画マスタープラン事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00679				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00679
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>妥当性については適正といえるが、有効性、効率性、公平性及び持続可能性については、改善の余地がある。有効性では、指標設定が困難であるが目標や達成状況は分析する。効率性については、一定条件にあう団体を対象としているものの、取り組み内容を鑑みれば、理解が得られる。持続可能性については、現在比較的安価な費用による取り組みとなっているが、アドバイザーの行為に頼っているところもあり、他の公共団体の取組との比較・分析をしながら調査・研究を続けていく必要があると考える。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	都市計画施設整備費積立事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正 内容	都市計画施設整備基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することを可能とした。											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	吹田市積立金条例(S39. 3. 31制定)、都市計画施設整備基金要綱(S61. 2. 1制定)													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市都市計画施設整備基金												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大型事業を施工するにあたり、莫大な費用が生じるため基金を積立てる。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	財源確保に不測の事態が生じて、事業を遅延なく進めていくことができる。												
(7)	事業概要	都市計画施設を整備する際に必要となる経費を積立てる。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	20	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	1,015	0	1,123	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00						
			総額(B)	千円	0	804	0	790	0						
		総事業費(A+B)		0	1,819	0	1,913	0							
		特定財源(C)		0	1,015	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
			その他		0	1,015	0	0	0						
		市負担(D)		0	804	0	1,913	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
一般財源			0	804	0	1,913	0								
財源計(C+D)		0	1,819	0	1,913	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	都市計画施設整備基金残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	6,987,218.00	5,988,341.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	都市計画施設整備基金残高	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
	②	指標内容	都市計画施設整備基金残高	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		都市計画施設整備基金残高	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	都市計画施設整備基金取崩し額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	0.00	1,000,000.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	都市計画施設整備基金取崩し額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
	②	指標内容	都市計画施設整備基金取崩し額	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		都市計画施設整備基金取崩し額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本市の都市計画施設事業で多額の費用を要する大型事業を施工するにあたり、財政確保に不測の事態が生じて、事業を遅延することなく進めていくため、毎年の財政状況等も勘案し、可能な限り基金の積立てを行うために必要な継続事業である。					

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00680				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00680
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後においても、実施計画に掲げる都市計画事業を遂行するための財源確保として必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	景観まちづくり推進事業				
担当部名	都市計画部	室課名	都市計画室	室課長名	松本 康司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市景観まちづくり条例の制定											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	景観法、吹田市景観まちづくり条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		景観法に基づき行為の届出に先立ち、条例により事前協議制度を位置付けている。また、市が事業者と協議を行うに当たり、専門的な助言を得るため景観アドバイザーを委嘱し、景観アドバイザー会議を運営している。											
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民・事業者・専門家等・行政											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	「吹田市景観まちづくり計画」や「吹田市景観まちづくり条例」を活用し、市民、事業者、専門家等、行政の協働により景観まちづくりを推進する。												
(7) 事業概要	「吹田市景観まちづくり計画」及び「吹田市景観まちづくり条例」に基づき、市民・事業者・専門家等・行政が相互に協働して景観まちづくりを推進している。条例に基づき、一定規模以上の開発等を行う際に、事前協議・届出を行うこととし、必要な助言・指導を行っている。景観に与える影響の大きい建築物の新築等については、専門的立場の「景観アドバイザー」と事業者、市の3者による会議を開催している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,184	908	1,184	958	0							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	1.90	2.50	0.00						
		総額(B)	千円	16,704	16,078	15,523	19,750	0						
	総事業費(A+B)		17,888	16,986	16,707	20,708	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		17,888	16,986	16,707	20,708	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		17,888	16,986	16,707	20,708	0								
財源計(C+D)		17,888	16,986	16,707	20,708	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 事前協議等件数	目標値	(単位:件)	200.00	290.00	278.00	
			実績値	(単位:件)	297.00	243.00	/	
		達成度(%)		148.5	83.8			
	目標値の積算方法 過去5年の事前協議数の平均値から設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	57.19	88.00			
			一般財源(単位:千円)	57.19	88.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 助言・指導に対する反映割合	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00	
			実績値	(単位:%)	68.50	70.84	/	
		達成度(%)		68.5	70.8			
	目標値の積算方法 指導事項が全て反映されることを目標値として設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	247.97	301.85			
			一般財源(単位:千円)	247.97	301.85			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	景観を指標で表すことは困難であるため、市民意識調査を活用し、まちなみは美しいと感じている人の割合の向上を目指す			達成状況	「吹田市市民意識調査結果」まちなみは美しいと感じている人の割合:H26年度58.6%、H22年度57.2%	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		「吹田市景観まちづくり計画」の実現に向け、「吹田市景観まちづくり条例」に基づく事前協議制度や景観アドバイザー制度を活用し、今後も継続して市民、事業者、専門家等、行政が協働して景観まちづくりの推進に取り組むための助言や誘導を行っていく必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	景観まちづくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00684				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00684
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一定規模以上の開発等を行う事業者に対しては、「吹田市景観まちづくり条例」に基づく事前協議の際に、景観アドバイザー制度も活用し、必要な助言・指導を行い、景観まちづくりを推進している。今後も、事業者が助言・指導を踏まえた計画に取り組めるよう、きめ細かな協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度末まで開発審査室にあった景観まちづくり推進事業(アドバイザー報酬費など)が、平成28年度の組織改正により都市計画室に統合されたが、予算費目は各々都市計画費と土木管理費として評価・分析を行った。